

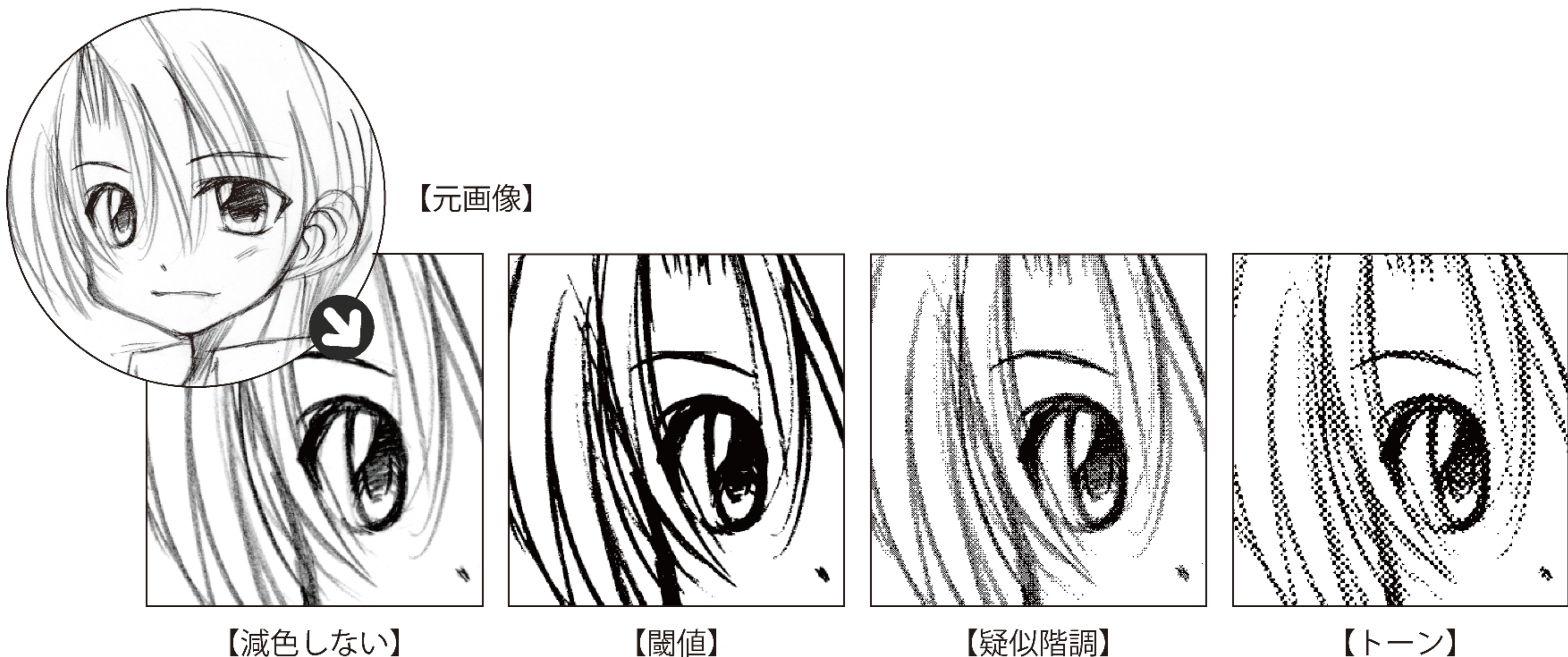


前は完成した原稿を ComicStudio にスキャナを使って、読み込みました。
今回は、読み込み時に使える&覚えておくと、ちょっと便利なワザを紹介したいと思います。

原稿を読み込む時のポイント【初級編】

Point1 読み込み先のレイヤーを考える

ペン入れ済みの原稿を読み込む時の基本は「ラスターレイヤー / 仕上げ / 白黒 2bit」ですが、鉛筆書きのグレーを含む原稿を読み込んで使いたい時は、「グレー (8bit)」で読み込みます。減色方法によって雰囲気、がらっと変わりますので、好みで選んでください。



Point2 水色で下描きした場合はスキャンはカラーで。

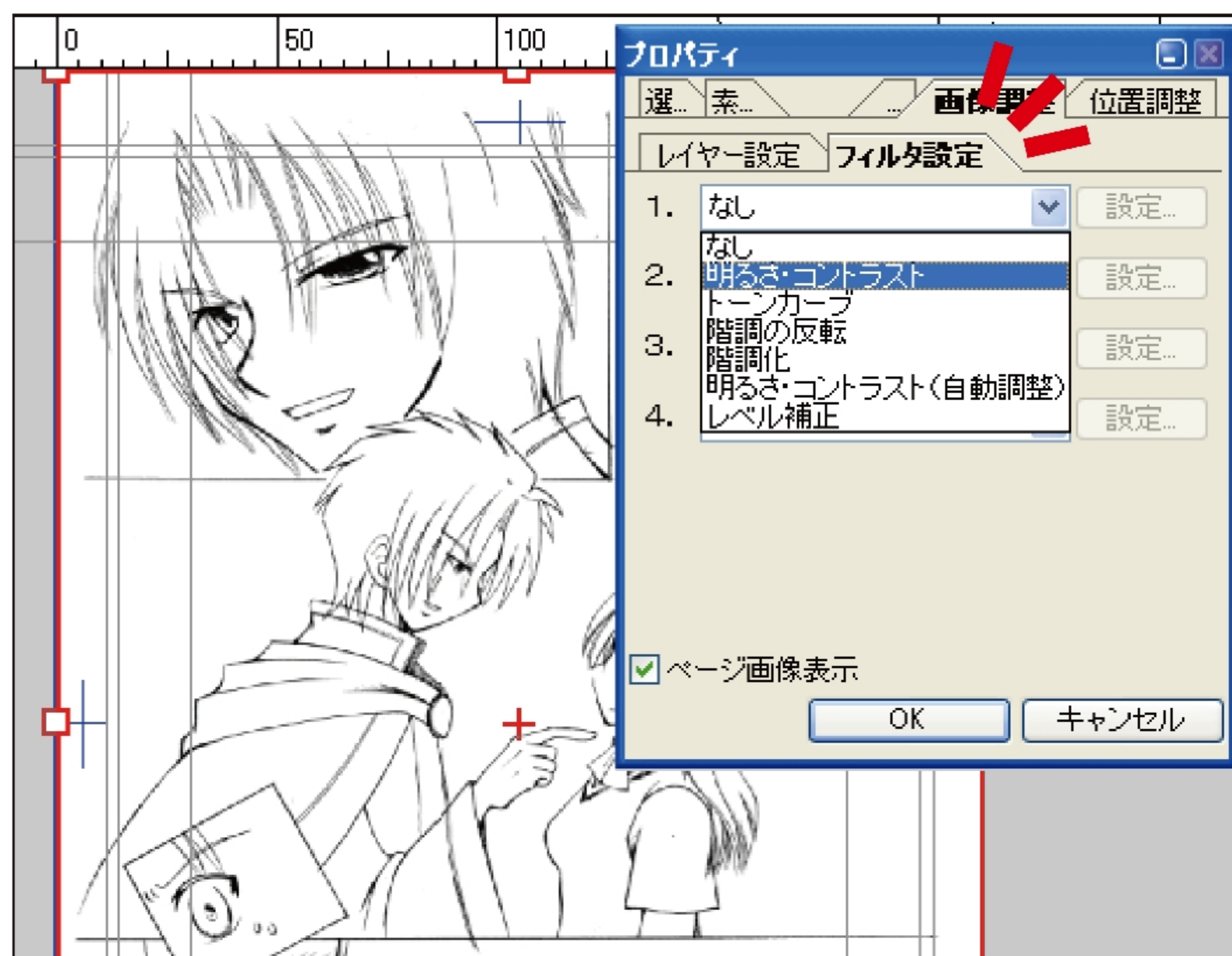
水色で下描き→ペン入れした時は、スキャンの設定を「グレースケール」ではなく、「カラー」でスキャンして、「ラスターレイヤー / 仕上げ / 白黒 2bit」で読み込みます。「グレースケール」でスキャンすると、水色の線がグレーで残ってしまうからです。



原稿を読み込む時のポイント【ちょっと上級編？】

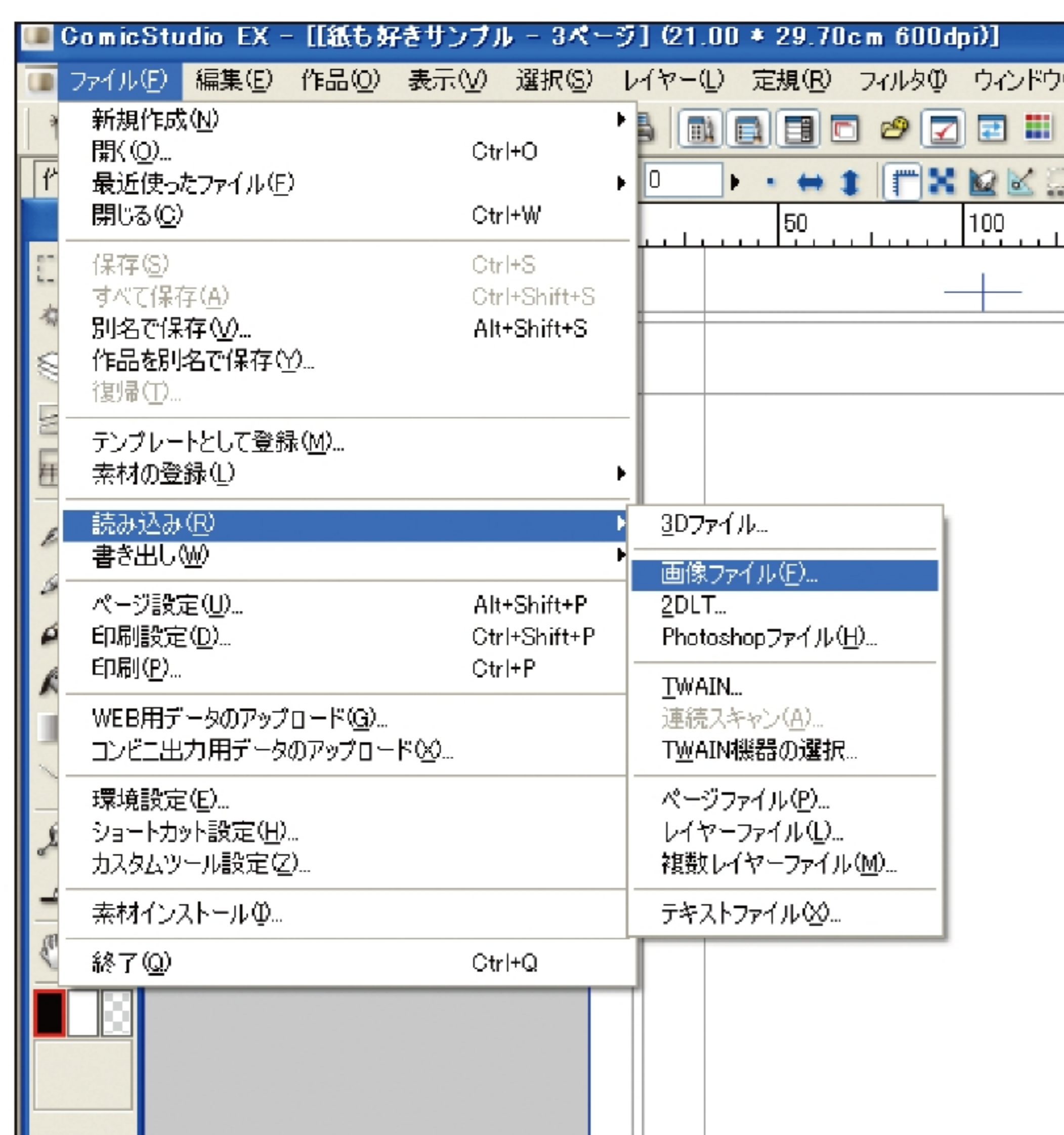
Point1 読み込み時に画質調整のフィルタをかける。

スキャンして ComicStudio に読み込む際に画質調整のフィルタをかけることができます。読み込み後にフィルタかけている場合は、ここに組み込んでおくと、読み込み後にフィルタをかける手間が省けます。

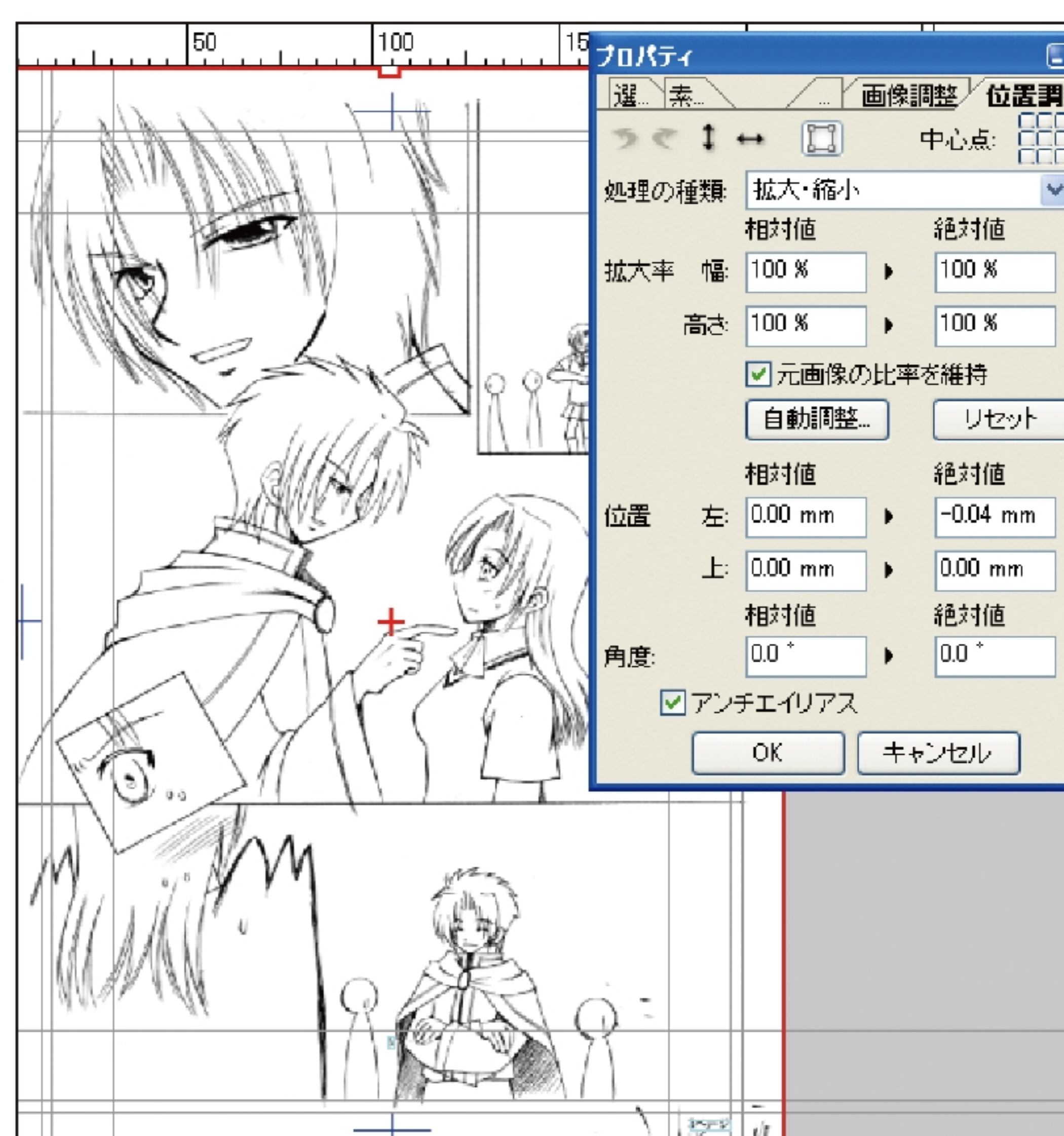


Point2 Photoshop で加工したデータを読み込み

スキャンした原稿を Photoshop で調整してから、ComicStudio に読み込む場合は、「ファイルメニュー」の「読み込み」、「画像ファイル」から読み込みます。原稿の調整は Photoshop でやりたいな～っていう人向けです。



ファイルメニューの「読み込み」から
「画像ファイル」を選ぶ



後はスキャンの時と同じです

原稿の読み込みが終わったら、次は、読み込み原稿の最初の関門。原稿のゴミを取りと、線画の調整をしていきます。